

● CNC P はあなたが参加し楽しく議論し活動する場です ●

シリーズ「土木ということば」 第 16 回 「土木工学」ということば

Civil Engineering は、明治七年(1874 年)『工学寮学課並諸規則(工部省)』に「土木学」と初めて記された、と第 8 回に書いた。現在の一般的な訳はというと「土木工学」であり、Engineering は「工学」である。

遡ること四年、鉄道建築師長(Engineer in Chief) エドモンド・モレルによる「建築局と建築学校設置」建議をもとに明治三年(1870 年) 閏十月二十日、大隈重信、伊藤博文らに主導されて「工部省」が建置された。この提案が途中で中国官制の六部の一つ「工部」にならったであろう「工部院建置之議」に変わっていなければ、明治政府の殖産興業をつかさどる省が「建築省」となっていたかもしれない。翌明治四年七月の「工部学校取設ノ儀」を経て、八月十四日に工部省は 10 寮 1 司の編成となり、技術教育機関「工学寮」が新設され、山尾庸三が工学頭になった。翌明治五年一月二十四日制定の『工部省職制並事務章

程』の事務章程には「工学ヲ開明スル事」とあり「工学」が開明すべき新しい学問として初めて記された。また「鉄道電信灯台礁標等ヲ建築修繕スル事」という記述もあり、当時「鉄道」「電信」「灯台」は「建築」するものだった。

「土木工学」は、旧「開成所」の流れをくむ「東京開成学校」の教育課程『東京開成学校一覽』(明治八年(1875 年) 二月)の諸藝學(ポリテクニク) 第二年本科中級に「土木工学(シビールエンジニアール) 及實驗」として出てくる。「工学」が確立したためか、「土木学」ではなく「土木工学」と訳されている。

なお、「土木学会」の前身の「工学会」は工学寮卒業生の同窓会が基である。

(土木学会土木広報センター次長 小松 淳)

Vol.64 コンテンツ

巻頭言	正義の味方ツラをするメディアの真相	世古 一穂	2
コラム	～NPO とボランティアと連携プラットフォーム～	田中 努	3
トピックス	NPO 法人 LIME Japan 第 17 回啓発セミナー	有岡 正樹	5
土木と市民社会をつなぐ	当たり前の重み	岡室 美恵子	8
部門活動紹介	「住民が主役、高校生も目覚める橋点検」	企画サービス部門	10
会員からの投稿	最近の小事 一自然災害と避難一	星野 隆幸	12
事務局通信			13